

## 浜松観光ボランティアガイドの会

### 2020年度「浜松観光ボランティアガイド養成講座」(前半)

2020年度の浜松観光ボランティアガイド養成講座が開催されています。

本年度は、男性8名、女性2名、計10名の受講者です。講座内容は座学をホテルコンコルド浜松、現地研修を浜松城で実施します。講師は研修部の皆さん、内容は以下の通りです。なお、1回から3回を前半とし、4回から6回を後半として、会報2月号、3月号に掲載します。

回	日時	テーマ
1回	1月18日(月)10時～12時	ボランティアガイドについて
2回	1月25日(月)10時～12時	浜松時代の家康
3回	2月1日(月)10時～12時	家康の散歩道
4回	2月8日(月)10時～12時	浜松城内の展示物・石垣
5回	2月15日(月)10時～12時	浜松城にて現地研修
6回	2月22日(月)10時～12時	浜松いろいろ・各ブロックへの配属他



大村会長へのインタビュー

【1回目】事務局長の鈴木猛二さんから、①5ブロックの輪番による活動、②各ブロックの定例会開催状況、③活動4拠点の活動時間、④ブロック配属後4月～6月見習い期間、7月から本格活動、⑤法被、帽子、年会費等について説明がされ、休憩後、会長の大村眞佐夫さんが「楽しきかな案内人」と題して、会の発足経緯や活動概要等を説明しました。

今回の講座開催に当たり、浜松ケーブルテレビから取材の申し入れがあり、講座の状況収録と大村会長へのインタビューがあり、翌19日に放映されました。

[受講者の感想] 地形の話に興味湧き、研修もやる気が湧いた。

【2回目】「浜松時代の家康」と題して、前半を谷晃さん(西ブロック)が、家康の浜松城在城前・後の年表による説明、家康の戦いとして、姉川の戦い、三方ヶ原の戦い、長篠・設楽原の戦い、高天神城の攻防戦について説明をしました。休憩の後、後半を飯田明良さん(北ブロック)が、築山御前と嫡男信康、甲州征伐、本能寺の変後の家康、小牧・長久手の戦い、朝日姫との結婚、駿府への転封、家康の名言、徳川家略系図等について説明をしました。

[受講生の感想] 高天神城を初めて知って大変興味湧いた。知らないことが多く、歴史に詳しくないため参考になった。



座学：浜松時代の家康



座学：家康の散歩道

【3回目】「家康の散歩道」についてです。「徳川家康浜松城築城450年記念事業」の一環として「家康の散歩道」が、従来の浜松駅を起点とした15カ所から、浜松城を起点に「城内・城下ルート」として12カ所、浜松城を起点に「合戦ルート」として9カ所にリニューアルされました。伊藤道代さん(東ブロック)が「城内・城下ルート」(新たに5カ所追加されました)を説明して、休憩の後、桶田忠正さん(東ブロック)が「合戦ルート」の説明をしました。

[受講生の感想] 徳川秀忠誕生の井戸と、遠江分器稲荷神社については、今回初めて知った。



# 「家康の散歩道」リニューアル

徳川家康公浜松城築城450年の記念事業として「家康の散歩道」がリニューアルされて、新しいリーフレットが完成しました。従来はJR浜松駅をスタートして太刀洗の池までの約10kmのコースでしたが、新しいものは浜松城をスタートしての「城内・城下ルート」と「合戦ルート」の2つのルートとなりました。リーフレットは蛇腹折りで徳川家康公の説明・年表・相関図、ルート地図、施設等の説明が英語を併記してあり、情報満載の分かりやすい内容となっています。編集発行は浜松市観光・シティプロモーション課です。

## 【城内・城下ルート】(全長：約6.3キロ)

家康公が居城とした浜松城とその城下町を巡るルートです。道路や町の区画、神社などには、戦国時代の名残がうかがえます。

浜松城⇒元城町東照宮(引間城跡)⇒椿姫観音⇒浜松八幡宮⇒徳川秀忠公誕生の井戸⇒遠江分器稻荷神社⇒松尾神社⇒金山神社⇒五社神社・諏訪神社⇒浜松秋葉神社⇒浜松城出丸跡⇒家康公鎧掛松

## 【合戦ルート】(全長：約5.8キロ)

三方ヶ原の戦いや武田氏との内通を疑われた築山御前ゆかりの地を巡るルートです。

浜松城⇒本多肥後守忠真の碑⇒犀ヶ崖古戦場⇒夏目次郎左衛門吉信の碑⇒普濟寺⇒西来院⇒宗源院⇒浜松市博物館⇒太刀洗の池(帰路は路線バス)

「城内・城下ルート」の遠江分器稻荷神社、松尾神社、金山神社、浜松秋葉神社、浜松城出丸跡の5カ所は今回新しく追加されました。各種研修会等ですでに訪れた方も多いたと思いますが、新しい2つのルートを改めて散策すると新しい発見があり、ガイドとしての知識を高めることができると思います。

広報部 春日康治(西ブロック)



リーフレットの表紙



遠江分器稻荷神社

家康公の命により本殿を修造、穀物の神である倉庫魂命を祀る



浜松秋葉神社

家康公が浜松の裏鬼門に勧請、永き泰平の世を築く礎となった旧武田家臣団の起請文を奉納させた祈りと結びの神社



金山神社

金山彦命・金山姫命を祀り、鍛冶職や金工職人、鋳物屋の篤信を集める



松尾神社

浜松神社と松尾社を合祀、浜松城の祈願所に



浜松城出丸跡

浜松城の防御の要衝、鳥居元忠が守備した



## 浜松城に新登場 スタンプラリーと開運おみくじ



1月1日(金)浜松城がリニューアルオープンしました。リニューアルを記念して新しくスタンプラリーと開運おみくじができました。スタンプラリーはスタンプ用紙に天守各階の4カ所のチェックポイントにある色違いの4つのスタンプを重ねて押すことで4色刷りの浜松城のデザイン画になります。子供たちの列ができるほど大人気です。

開運おみくじは天守門内にあり、1回100円です。おみくじには戦国武将の名前も記載されていてユニークな内容です。御城印をはじめ各種のお土産が登場して、訪問者にとってよい来城記念となるでしょう。

広報部 春日康治 (西ブロック)



## 浜松まつり会館の新・旧館長紹介

昨年10月、浜松まつり会館の館長が交代しましたので、新旧館長をご紹介します。



左側：高橋さん、右側：中村さん

高橋正詔 (まさのり) 旧館長：1953年生れ、2014年4月遠州鉄道(株)から当館に転勤。着任後、多くの企画を立ち上げました。特に次の2点はその代表例です。2015年1月「嵐」二宮さんが凧揚げ会場で大凧を揚げる風景が日テレで放映され、その後、2018年8月までその凧を会館内に展示し、来館者を惹き付けたこと。さらに、「嵐」メンバーをモチーフにしたミニ凧、ストラップ、バッチ等を販売し記録的な売り上げを達成。2019年8月のまつり会館フェスタからは、それまでの昼間開催を熱中症対策のため夕暮れ開催へ切り替え好評を得たこと。等です。

中村敏幸新館長：1961年生れ、2020年10月遠鉄トラベルから当館に転勤。今後の抱負は、今年8月の浜松まつり会館ナイトフェスタでは、屋外シアターを企画する。特に野外コンサートを充実し、さらに盛り上げたい。前館長の意志を引き継ぎ、お客さんに楽しんでいただける企画を作り、立ち上げて行きたい、とのことでした。

広報部 古本俊夫 (南ブロック)

## 会員の交流広場

## 皆様永い間ありがとうございます！

私は今年度で退会させていただきます。最近、少し足腰が弱くなり時折聞き返したり、ガイドとして体力の限界を感じております。

この19年間、皆様のご指導とご支援のお陰で、誠に有意義なとても楽しい時間を過ごさせていただきましたこと、心からお礼申し上げます。

顧みれば、入会4年目に初代会長古橋昇氏より、この会の運営資金は乏しいが銀行出身だからやりくり上手だろうとの理由で会計係に任じられました。以来12年間、各種団体の猛者と丁々発止、契約等の交渉を重ねて参りました。お互いに厳しい局面の中で「赤誠、天に通ず」を痛感したことがあります。

新人ガイド養成講座では、初日から受講者に実践的に参加していただき、ガイド気分を味わっていただきましたが、講師の私も楽しみでした。国の内外を問わないガイド活動では、例えば、刈谷市から「大月みや子ショー」を見に来た母娘ファンと大賞歌「女の港」を合唱したり、外国のお客様には城の壕を造る場面を「炭坑節」の踊りで表現したり、唄って踊って明るく楽しく落語くずしの軽妙な語り口の優しいガイドになれたらと念じましたが・・・。

さて、浜松城内の大改修を待っていたかのように令和5年NHK大河ドラマ「どうする家康」決定！現在、一騎当千の名ガイド揃いの100余名の当会は全国でもトップ10に入る大団体。今度の絶好の舞台を見据えて、皆様にはご健康には充分留意され、ますますご活躍されて全国に知名度を轟かせられることを心からお祈りいたします。永い間、皆様から明るく楽しく仲良く接していただきましたこと、改めて心からお礼申し上げます。誠にありがとうございます。

西ブロック 高山功



# 浜松城公園内大型看板「浜松城の変遷」リニューアル

「徳川家康浜松城築城450年記念事業」の一環として、公園内にある大型看板が「徳川家康在城期」「堀尾吉晴在城期」「廃城時」の3時代の変遷が込められる看板にリニューアルされました。



## 【徳川家康在城期】特徴：土塁、板葺き屋根

1570年、岡崎城から引間城に拠点を移し、拡張工事を行い浜松城と改名した。1586年に駿府城に移るまで浜松城が家康の本拠であった。

三方原台地の端部の地形を利用し、本丸や二の丸などが東西に連なっており、北側には守りに適した湿地が広がっていたと推定される。

家康時代には、まだ石垣や天守はなく、土塁に囲まれた曲輪に、板葺きの屋敷が建てられていたと想定される。



## 【堀尾吉晴在城期】特徴：石垣、瓦葺き屋根

1590年、家康は江戸城に移り、浜松城には堀尾吉晴が入城した。吉晴は高い石垣を築き、瓦葺きの櫓や城門、天守を建築した。

天守や門の位置から、浜松城は東を正面にして整備された。

1958年に復興された現在の天守は三重三階であるが、吉晴が築いた天守台の三分の二ほどに縮小して建てられている。

松江城天守を参考に、四重五階、地下一階であったと想定される。



## 【廃城期】特徴：現在の浜松城に近い姿

江戸時代の浜松城は、絵図等の古記録から知ることができ、絵図には天守曲輪に天守や櫓が見えず、江戸時代の早い段階には失われたと推定される。天守曲輪の周囲は石垣が廻るのみで、表門の天守門と、裏門の埋(うずみ)門だけであった。

1872年から1873年に、浜松城に存在した建物や土地の払い下げが行われ、建造物はこの時にすべてが失われた。

広報部 小池輝夫(東ブロック)

## 1月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター(浜松駅構内)」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

### 《浜松城》

19日 火	大平台小学校	91名
20日 水	NPO法人アンヘレス天使の部屋 三方原教室	9名
26日 火	三方原幼稚園	27名
28日 木	牧之原市立細江小学校	78名

### 《犀ヶ崖資料館》

16日 土	年令の会・ウォーキング部会	29名
21日 木	追分小学校	42名
24日 日	老人クラブ	4名

### 《浜松まつり会館》

\* 団体入場者なし

## はままつ案内人会報 223号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会  
〒430-0946 浜松市中区元城町100-2 (浜松城内)  
TEL & FAX 053-456-1303  
メールアドレス mail@hama-svg.jp  
ホームページ http://www.hama-svg.jp/



出生大名 家康くん

出生法師 直虎ちゃん

はままつ案内人

検索